

事業番号

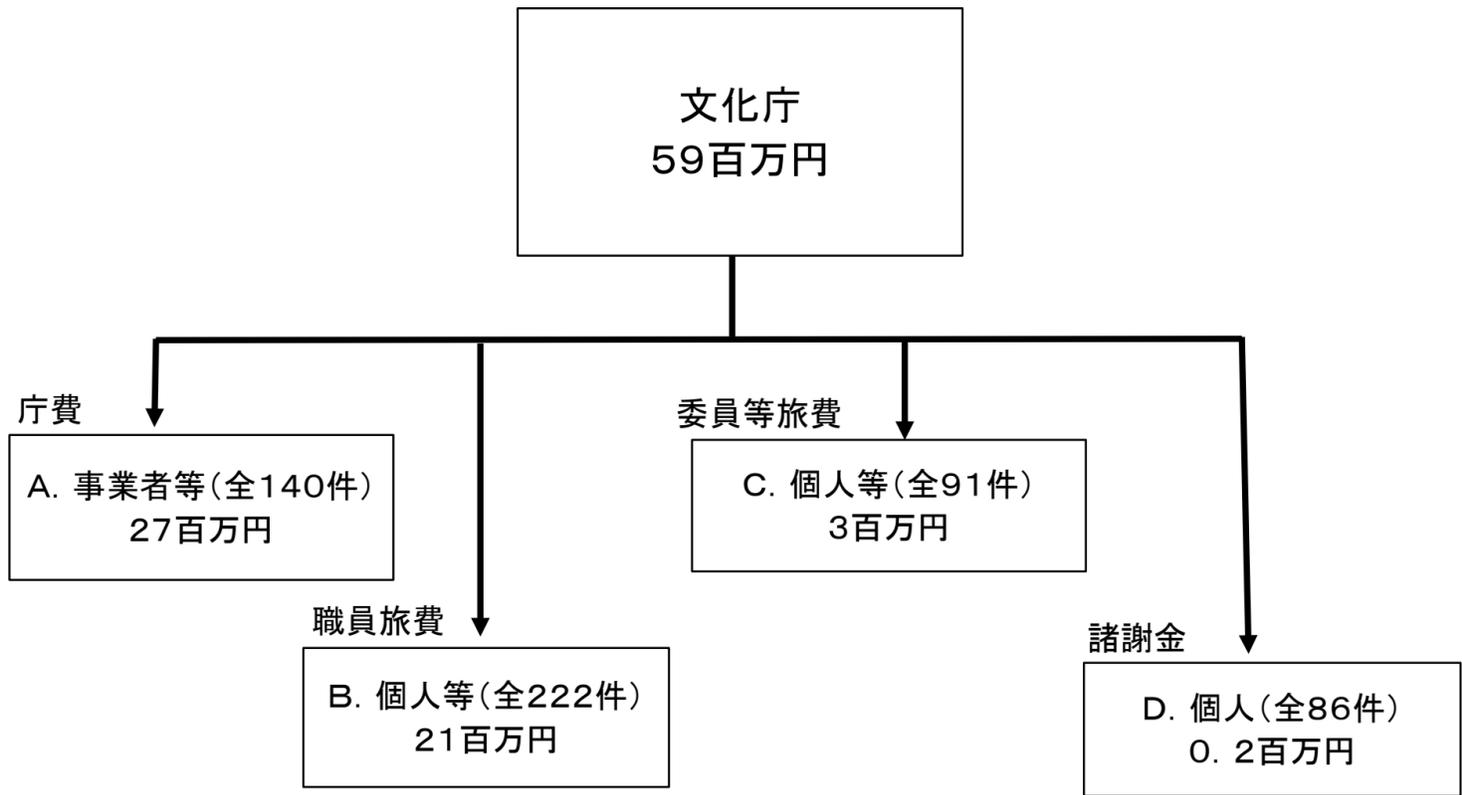
2023 - 文科 - 22 - 0430

令和5年度行政事業レビューシート				(文部科学省)								
事業名	世界遺産普及活用・推薦のための事業推進			担当部局庁	文化庁	作成責任者						
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	文化資源活用課	文化資源活用課長 齋藤憲一郎						
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術基本法 第13条、第14条			関係する 計画、通知等	文化芸術推進基本計画 (平成30年3月6日閣議決定)							
政策	12 文化芸術の振興			主要経費	その他の事項経費							
施策	12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実											
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_12-1.pdf											
事業の目的 (5行程度以内)	世界文化遺産の推薦件数が各国1年1件に限られ、また、諮問機関の審査が複雑化・厳格化・長期化する中、海外専門家との情報交換等を通じ、専門的・技術的に十分な推薦準備を行うことで、我が国の推薦資産の世界遺産リストへの確実な登録を促進する。さらに、登録後においても自国の世界遺産の保全について万全の措置をとることがこれまでに増して求められている中、適切かつ持続可能な保全や発信の取組を充実することで遺産を着実に次世代へ継承し、世界及び日本の文化の発展に寄与する。											
現状・課題 (5行程度以内)	「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」は、昭和47年にユネスコ総会で採択された。令和5年4月現在、世界遺産一覧表には1,157件の遺産が記載されているが、新規推薦物件の審査は年々厳しくなるとともに、今年度から諮問機関による推薦前の事前評価制度が導入されることで、ユネスコにおける審査期間が長期化(約4年)することとなっている。また、登録された資産については、その保全について各国で万全の措置をとることがこれまで以上に求められている状況である。このように、世界遺産を取り巻く状況が複雑化する中において、世界遺産の本質を見つめなおし、我が国における世界文化遺産における今後の在り方について検討すべく、令和2年度から文化審議会において議論が進められており、令和3年3月末に第一次答申がとりまとめられたところである。そこでも指摘されている通り、推薦と登録後の保全を確実に進めるにあたり、推薦物件の価値の学術的裏付けや保全管理の充実などが非常に重要な課題となる。											
事業概要 (5行程度以内)	令和3年3月末にとりまとめられた文化審議会世界文化遺産部会「我が国における世界文化遺産の今後の在り方」第一次答申も踏まえ、我が国の推薦案件を確実に世界遺産登録へとつなげるため、世界遺産委員会や国際専門家会合に積極的に出席し情報収集、審査傾向の分析等を行う。また、暫定一覧表記載資産が提案内容の精緻化のために行う国際専門家会議等に技術的助言・開催支援を行うほか、暫定一覧表の改定に向けて必要な調査・研究・分析等を行う。さらに、登録後の適切かつ持続可能な保全の取組を強化するため、遺産影響評価(HIA)の手法・分析や周辺環境に応じた世界遺産の在り方などを含む最新の海外専門機関の議論・動向を分析し、指針等の作成を行う。また、得られた情報を広く国内関係者へ周知するにあたり、シンポジウム等の開催やホームページ等を通じて情報発信を積極的に行うとともに、世界遺産パンフレットの作成などを通じ、我が国が誇る様々な文化遺産の国内外への発信を強化する。											
事業概要URL	-											
実施方法	直接実施、委託・請負											
補助率等	-											
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	70	令和3年度	66	令和4年度	59	令和5年度	59	令和6年度要求	68
		補正予算(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	70	66	59	59	68					
		執行額(G)	55	50	53	-	-					
		執行率(%) =(G)/(F)	79%	76%	90%	-	-					
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	79%	76%	90%	-	-					
		令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)					
(項)	文化財保存事業費				・主な増減理由 令和6年度は我が国が推薦中の「佐渡島の金山」の登録審議が予定されており、その登録のためには、推薦案件の登録審議を行う世界遺産委員会の委員国から当該資産の学術的・文化的価値の理解を得て、登録に賛同を得ることが必要となる。そのためには、委員国等に赴くなど、直接、当該資産の価値についてハイレベルでの説明を行うことが不可欠であることから、職員旅費を増額要求・要望している。 ・要望額(重要政策推進枠) 要求額68百万円のうち、6百万円							
(目)	職員旅費		17	27								
(目)	庁費		17	17								
(目)	文化芸術振興委託費		16	16								
(目)	委員等旅費		5	5								
(目)	諸謝金		2	2								
(目)	その他	2	1									
計(A)		59	68									

活動内容① (アクティビティ)	世界遺産の推薦と登録後の世界遺産の保全を確実に進めるために、ユネスコ世界遺産委員会や遺産の保存・管理等に関する各種専門家会議、世界遺産暫定一覧表に関する各種会議等へ積極的に参加するとともに、国際専門家会議の開催や調査研究等を行う。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	世界遺産登録の推進及び登録後の保存管理に関する最新の動向や他国の類似資産の好事例等の習得。	世界遺産条約関係会議及び暫定一覧表記載案件に関する国際専門家会議等への出席回数	活動実績	回	11	10	46	-	-	
			当初見込み	回	17	17	17	17	17	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	世界遺産登録の推進及び登録後の保存管理に関する最新の動向や他国の類似資産の好事例等の習得や意見交換を行うことで、「推薦物件における世界遺産リストへの記載の確実な実現」のための推薦書作成及び「登録後の適切かつ持続可能な保全管理の強化」に係る活動に繋がるため、成果目標として設定。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
	推薦資産の世界遺産リストへの確実な登録の実現。	世界文化遺産登録件数	成果実績	件	-	1	-	-		
			目標値	件	-	1	-	-		
			達成度	%	-	100	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	World Heritage List (UNESCO HP : https://whc.unesco.org/en/list/) ※令和4年及び5年度は我が国の推薦資産に関する登録審議は予定されていない。 ※なお、今後、事前評価制度が導入されることにより、我が国の推薦案件の審査も複数年に1件となる可能性がある。									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
事業に関連する KPIが定められ ている閣議決定 等	名称	-								
	URL	-								
	該当箇所	-								

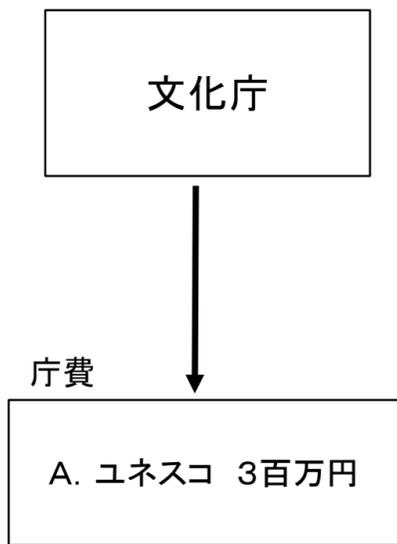
※令和4年度実績を記入。
 なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

<全体図>



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

<代表例>



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	審査料	3	職員旅費	海外旅費	2
計		3	計		2

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ユネスコ	-	世界遺産審査料	3	随意契約(その他)	-	-	-
2	有限会社不二出版	9380002011866	書類作成	3	随意契約(その他)	-	-	-
3	株式会社カントー	4010001014226	ソフトウェアライセンス更新	2	一般競争契約(最低価格)	3	83%	-
4	ヤマノ印刷株式会社	2010001031248	印刷製本	1	随意契約(少額)	-	-	-
5	株式会社インソース	5010001080795	オンライン配信	1	一般競争契約(最低価格)	2	67.2%	-
6	株式会社Swimmy	8010401148405	オンライン配信	1	一般競争契約(最低価格)	4	59.7%	-
7	有限会社不二出版	9380002011866	書類作成	1	随意契約(その他)	-	-	-
8	日本コンベンションサービス株式会社	2010001033161	通訳	0.9	随意契約(少額)	-	-	-
9	株式会社グローヴァ	4010001088658	通訳	0.8	随意契約(少額)	-	-	-
10	株式会社コングレ・グローバルコミュニケーションズ	4010401099016	通訳	0.8	随意契約(少額)	-	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社IACETラベル	7010001128717	チケット等手配	2	随意契約(少額)	-	-	-
2	株式会社IACETラベル	7010001128717	チケット等手配	1	随意契約(少額)	-	-	-
3	株式会社IACETラベル	7010001128717	チケット等手配	1	随意契約(少額)	-	-	-
4	株式会社国際サービス・エージェンシー	4011101033826	チケット等手配	1	随意契約(少額)	-	-	-
5	株式会社IACETラベル	7010001128717	チケット等手配	1	随意契約(少額)	-	-	-
6	株式会社IACETラベル	7010001128717	チケット等手配	1	随意契約(少額)	-	-	-
7	株式会社IACETラベル	7010001128717	チケット等手配	1	随意契約(少額)	-	-	-
8	株式会社IACETラベル	7010001128717	チケット等手配	1	随意契約(少額)	-	-	-
9	株式会社霞が関トラベル	6010001013886	チケット等手配	0.7	随意契約(少額)	-	-	-
10	株式会社IACETラベル	7010001128717	チケット等手配	0.4	随意契約(少額)	-	-	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	-	0.1		-	-	-
2	個人B	-	-	0.1		-	-	-
3	個人C	-	-	0.1		-	-	-
4	個人A	-	-	0.1		-	-	-
5	個人A	-	-	0.1		-	-	-
6	株式会社IACETラベル	7010001128717	チケット等手配	0.1	随意契約(少額)	-	-	-
7	個人D	-	-	0.1		-	-	-
8	個人C	-	-	0.1		-	-	-
9	株式会社IACETラベル	7010001128717	チケット等手配	0.1	随意契約(少額)	-	-	-
10	個人E	-	-	0.1		-	-	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	校閲	0.3		-	-	-
2	個人B	-	校閲	0.3		-	-	-
3	個人C	-	審査	0.1		-	-	-
4	個人D	-	審査	0.1		-	-	-
5	個人E	-	審査	0.1		-	-	-
6	個人F	-	審査	0.1		-	-	-
7	個人G	-	労務	0.1		-	-	-
8								
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	